

医療機関名	NICU ベッド	産科 ベッド
二次救急医療機関		
市立札幌病院	○	○
北海道大学病院	×	○
札幌医科大学 附属病院	×	○
天使病院	×	○
北海道社会保 険病院	×	○
北海道立子 ども総合医療・ 療育センター	×	—

パターン3 1病院のみNICUを確保できる場合の対応

ルール 7

NICUベッドが確保できる病院が、1病院のみの場合、この日の、「第一優先病院」は、市立札幌病院とする。

ルール 6

オペレーターは、市立札幌病院以外の、三次病院に、再度、急患の新生児が発生した場合には、何とか受け入れられないか、確認し、余地があると回答が得られた病院を、「第二優先病院」とする。

医療機関名	NICU ベッド	産科 ベッド
二次救急医療機関		
市立札幌病院	×	○
北海道大学病院	○	○
札幌医科大学 附属病院	○	○
天使病院	×	○
北海道社会保 険病院	×	○
北海道立子 ども総合医療・ 療育センター	×	—

パターン 4 2病院がNICUを確保できる場合の対応

ルール 8

■NICUベッドを確保できる病院が複数ある場合、「優先受け入れ病院」「その他の優先受け入れ病院」の受け入れが、出来るだけ連続しないように配慮して、「第一優先病院」「第二優先病院」を決定する。

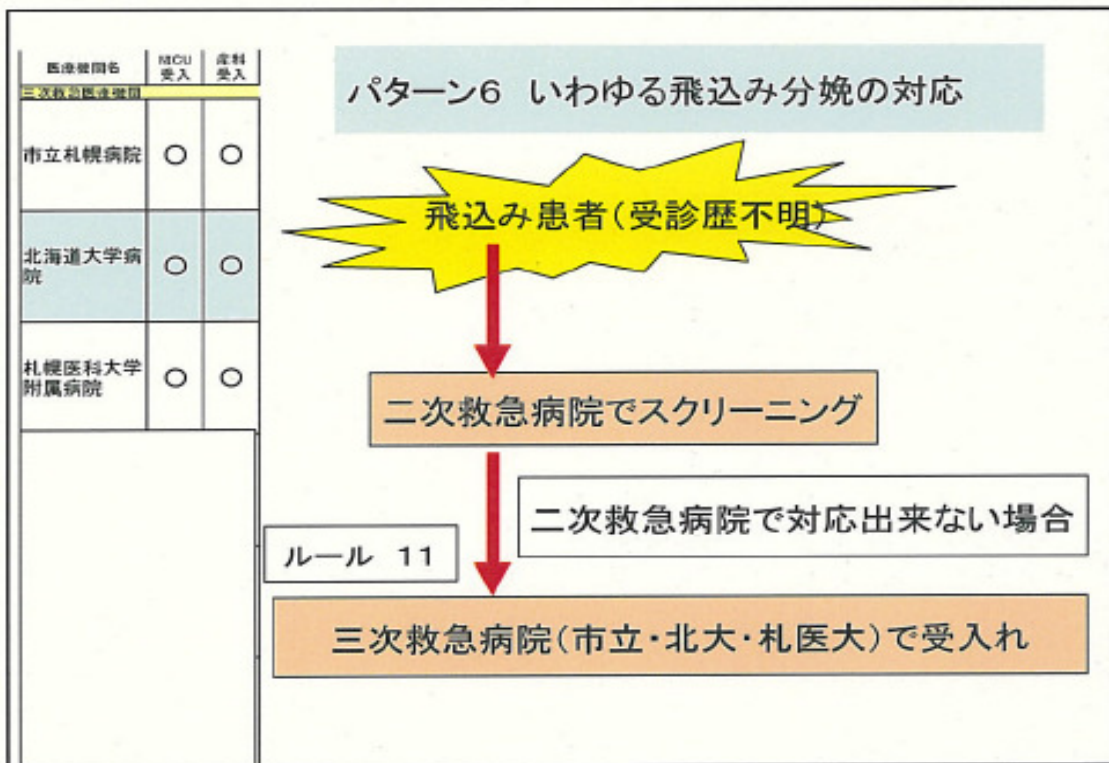
医療機関名	NICU ベッド	産科 ベッド
三笠保健医療圏		
市立札幌病院	○	×
北海道大学病院	○	×
札幌医科大学 附属病院	○	×
天使病院	○	×
北海道社会保 険病院	○	×
北海道立子ど も総合医療・ 療育センター	○	—

パターン 5 NICUベッドは、確保できるが、産科ベッドが満床の場合の対応

ルール 10

■NICUベッドは、確保できるが、産科ベッドが満床の場合は、産科ベッドについては何とか手当てして受け入れることとする。

2 いわゆる「飛込み分娩」の 場合の対応



第2回 産婦人科三次救急体制の 連携強化に関する調整会議

平成20年9月24日(水曜日)午後6時30分～

WEST19 2階 大会議室

産婦人科三次救急医療機関に おける「患者優先受入れ病院」 等の決定のルールについて

ルールづくりの前提条件

- 1 妊娠経過（在胎週数経過、体重など）が予め分かっている場合の対応
 - 一次・二次救急医療機関から転院搬送
- 2 いわゆる「飛込み分娩」の場合の対応

2 いわゆる「飛込み分娩」の 場合の対応について

ルール化にあたり勘案すべき事項 1

【医療機関側の条件】

- 緊急手術への対応（麻酔科当直医、手術室の体制）
- ハイリスク新生児への対応（NICUの体制）
- ハイリスク妊婦への対応（産婦人科、ICUの体制）

【未受診の妊婦側の条件】

- 妊娠週（月）数（最終月経の月が把握できた場合）
- 痙攣・意識障害の有無（救急車収容時の状況）
- 合併症の対応（救急隊が把握できた場合）

【振り分けの基本原則】

- 妊娠週（月）数に応じて、2次と3次に振り分ける
- 特定の医療機関へ負担が集中しないよう配慮する